

## 新湾岸道路有識者委員会

### 設立趣旨

千葉県湾岸地域は、国際拠点港湾の千葉港や素材・エネルギー産業の集積地である京葉臨海コンビナートなど我が国の経済を支える重要な拠点を多数有するとともに、東京都心に近接するため人口が集積し多数の大規模商業施設が立地する地域である。

他方、これらの活動を支える道路ネットワークは、車線の増設や交差点改良など渋滞対策が進められてきたものの、いまだ交通需要に対して容量が不足することから慢性的な交通渋滞が発生しており、道路交通の円滑化が喫緊の課題となっている。

また、今後も港湾機能の強化や物流施設の立地等の開発計画に伴う交通需要の増大が見込まれている。

こうした状況を踏まえ、千葉県湾岸地域のポテンシャルを十分発揮し、国際競争力の強化や地域活性化に資するため、令和2年5月に国、県、沿線市、東日本高速道路(株)において、千葉県湾岸地域における規格の高い道路計画の基本方針が策定されたところである。

概略ルート・構造の検討にあたっては、地域の生活環境や東京湾岸部に残された貴重な干潟となる三番瀬等へ配慮しつつ、広く関係する方々の意見を把握しながら丁寧に合意形成を図る必要がある。

このため、新湾岸道路の検討を行うにあたり、計画検討手順、コミュニケーションプロセス、技術・専門的検討に対して客観的な立場からの助言を行うことを目的として、「新湾岸道路有識者委員会」を設立するものである。